

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 208

2009年

5～6月号

行 事 案 内

5月手賀沼探鳥会とカウント

「第20回バードウィーク手賀沼探鳥会」
として5月10日(日)に開催します。詳細
はP.2をご覧ください。

6月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 6月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 夏鳥の囀りが盛んになる頃です。水
鳥達の雛の子育てや褐色の小さな
サギの仲間ヨシゴイが葦原の上を
低く飛ぶ姿を見ることができるか
もしれません。期待しましょう。
解 散 正午
担 当 小林(寿)、野口(紀)、北原、桑森、
松田、佐々木

筑波山探鳥会(再掲)

期 日 5月6日(水) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時
案 内 恒例のゴールデンウィーク探鳥会
です。本隊(健脚向き)は筑波山の
裏側から探鳥しながら御幸ヶ原に登
ります。別隊(一般向き)は筑波山
神社で探鳥後、ケーブルカーを利用

して御幸ヶ原で本隊と合流します。
その後、男体山を周遊する自然研究
路を一周し、裏側から下山します。
ソウシチョウ、オオルリ、ツツドリ
の美声と姿に出会えるでしょう。

持 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人
1,500円を運転者にお渡しください。
なお、申込みの際、自家用車を
提供可能な方はその旨ご連絡くだ
さい。

申 込 染谷迪夫まで(本隊、別隊の希望を
お知らせください。)

Tel/Fax : 04 - 7182 - 3972

担 当 野口(隆)、染谷

(注)ケーブルカー利用者は別途片道大人
570円、子供290円 必要です。

軽井沢・菅平探鳥会

期 日 5月23日(土)、24日(日)
集 合 我孫子駅北口 午前7時
案 内 初日は軽井沢野鳥の森、二日目は菅
平湿原遊歩道を早朝探鳥、午後は碓
氷峠に近い小根山森林公園を訪れ
る予定で、菅平は当会として初めて
の探鳥地です。オオルリ、コルリ、
キビタキなどの夏鳥、アオジなど高
原の鳥の囀り、各種キツツキ、カラ
類など、多種多様な鳥が期待できる

探鳥会です。なお、昨年有志探鳥では50種以上の鳥が観察されています。

交通 今井タクシー小型バス
宿舎 菅平山の家(民間の保養所) 予定
須坂市大字仁礼字峰の原3153 96
費用 16,000~20,000円程度
(2日間の昼食は各自負担)
定員 17名(定員になり次第締め切りますので、早めに申し込んで下さい。)
持物 観察用具、雨具
申込 桑森亮まで
〒270-1143 我孫子市天王台2
15 17
Tel/Fax: 04-7182-3149
担当 諏訪、桑森

葦原の鳥たちを間近に観察します。そして今回は初めての印旛沼では葦原を飛び交う多くのヨシゴイに出会い、又時折出現するサンカノゴイも期待できます。

交通 自家用車分乗です。一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車提供可能な方はその旨をご連絡下さい。
申込 北原建郎まで
〒270-1166 我孫子市我孫子3-36-1-901
Tel 04-7183-4683
担当 北原、小玉

笹川・印旛沼探鳥会

期日 6月28日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
持物 観察用具、雨具、弁当・飲物
(途中購入可)
案内 笹川周辺ではオオセッカ、コジュリン、コヨシキリ、オオヨシキリなど

5月幹事会開催案内

日時 5月10日(日) 午後1時30分~
場所 こもれび 和室
議題 21年度下期行事予定
会報209号の掲載記事について
報告事項
その他(議題のある場合は事務局まで連絡ください。)

【第20回バードウィーク手賀沼探鳥会】

5月10日~16日はバードウィークです。恒例の手賀沼探鳥会を実施します。(財)山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館と当会が共催するイベントで、同日、手賀沼親水広場で開催される「Enjoy手賀沼!」(Enjoy手賀沼実行委員会主催)に併せた行事です。探鳥会には約80名の市民の参加が見込まれ、当会は探鳥会の実施面を担当するので、人手が必要になります。多数会員のお手伝いをお願いします。

期日 平成21年5月10日(日) 雨天中止
集合 手賀沼親水広場 芝生 午前8時30分
担当 全幹事
案内 6班編成で、順次出発、ふれあい道路を東進し、高野山新田の信号の先で右折、遊歩道へ入り、滝下広場から遊歩道を戻るコースとします。班毎に鳥合わせして解散です。原則12時終了の予定です。5月の定例探鳥会はこのバードウィーク手賀沼探鳥会に替えます。

雨天の場合は、我孫子市鳥の博物館見学会(入場無料)を行います。館内の案内、説明等を会員が手伝います。確認は7時30分以降「鳥博」(04-7185-2212)まで。

行 事 報 告

2 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.2.8 9:00～12:00

晴 強風 気温 9

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ミサゴ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、イソシギ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、ピンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、クロジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 41 種 番外カワラバト

<探鳥班> 常盤孝義、矢口和平、小口勝久、西巻 実、浅井 久、栗田 励、田中 悟、吉川民子、西 昭子、野口隆也、池田日出男、山口キイ、中野久夫、大久保陸夫、小林寿美子、川村美智子、六角昭男、田中恒雄、松本勝英、野口紀子、吉田隆行、肥後邦彦、榎木徹、片桐邦夫、西城 猛、染谷良子、古出洋子、武藤康之、宮下三禮、北原建郎、西嶋昭生、西嶋みどり、高橋長久、間野吉幸、小玉文夫、石渡成紀、佐藤弘美、植田啓介、岩田孝之、小川克子、諏訪哲夫(担当) 桑森 亮 参加者 42 名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫
佐々木隆

調査日時 2009.2.8 9:10～12:25

晴、気温 8 度

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	7	8	15
ハジロカイツブリ	1	0	1
カンムリカイツブリ	2	1	3
カワウ	20	33	53
ダイサギ	2	1	3
コサギ	38	0	38

アオサギ	4	1	5
コブハクチョウ	3	4	7
マガモ	2	72	74
カルガモ	92	14	106
コガモ	43	4	47
オカヨシガモ	49	0	49
ホシヅメ	0	3	3
ミコアイサ	1	10	11
オオバン	43	9	52
セグロカモメ	1	1	2
合計	308	161	469

<ピオトープ班> 川田光男、谷山晴男、
鈴木静治

調査日時 2009.2.8 9:30～11:15

全般：風強く湖面は一面の白波。上空を飛ぶ鳥少ない。葦・蒲の間に潜む。

水田：殆どの乾田は起耕済み。

ピオトープ：手作りゾーンで、湿地の植物群再生の試み、沈水植物の生育実験中、カヤネズミ調査実施中。広場・道路脇、水路など整備される。

通行人：強風のためランニング、ウォーキング、サイクリングの人少ない。

3 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.3.8 9:00～12:00

曇り 弱風 気温 8

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、チョウゲンボウ、キジ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、アリスイ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、

メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 46 種

<探鳥班> 諏訪哲夫、肥後邦彦、桑森亮、池田日出男、田中悟、西昭子、吉田隆行、武藤康之、小林寿美子、間野吉幸、中野久夫、野口隆也、常盤孝義、山口キイ、小口勝久、片桐邦夫、六角昭男、高橋長久、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、小川克子、類地佑子、染谷良子、古出洋子、玉井修一郎、野口紀子、植田啓介、渡辺成、石渡成紀、栗原佑子、岩田孝之(担当)松田幸保

参加者 34 名

<カウント班> 田中功、北原建郎、染谷迪夫 佐々木隆

調査日時 2009.3.8 9:00~12:05

曇、気温 8 度

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	11	7	18
カムリカイツブリ	3	11	14
カウ	8	38	46
ダイサギ	2	1	3
コサギ	1	2	3
アサギ	3	6	9
コノハクチョウ	11	2	13
マガモ	7	15	22
カルガモ	132	15	147
コガモ	84	61	145
オオシガモ	40	0	40
ホシバシロ	0	4	4
ミコアイサ	4	4	8
バン	3	2	5
オオバン	30	35	65
ユリカモ	2	1	3
セグロカモ	0	4	4
合計	341	208	549

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、鈴木静治、谷山晴男、川田光男

全般：鳥の種類 26 種と多く観察され、調査範囲内・外で 4 種のタカがみられた。

水田：乾田の田起こし。一部の田は田起こしたところに水を入れている。

ピオトープ：湿地の植物群再生、カヤネズミ調査実施中。全般的によく整備さ

れている。

通行人：やや肌寒い、3 月になったせいか、散歩・走る・自転車の通行人多い。

井頭公園探鳥会

2 月 1 日

楽しかったバードソン

野口紀恵

2 月 1 日(日) 井頭公園探鳥会に参加した。毎年沢山の鳥が見られるそうだが、今回特に見たいのは「ペニマシコ」。私はまだ実際に目にした事が無い、憧れの赤い鳥である。

定刻の五分前に集合場所の我孫子駅北口に着くと、他の参加者は既に全員バスに乗り込んでいた。いつもながら皆さん朝が早い。慌てて席につき、いざ出発。

取手、守谷を過ぎ、下妻辺りまで来ると周囲が広々と開けて、前日の雨で空気が洗われたのか、筑波山を始め日光連山、白く雪をかぶった富士山もくっきりと見える。田中さんが「正面に見えるのが男体山、その左が日光白根...」と、指差して教えて下さる。

十時半、井頭公園に到着。二班に分かれてバードソンを行うという。私たち A 班はポート池の周りを時計回りに、B 班は同じコースを反対に回って見つけた鳥の種類数を競うのだ。「勝ちに行こう!」闘志を燃やす A 班メンバー達。まず目の前のポート池にスコープを向ける。マガモ、コガモ、カルガモ、オナガガモ、ミコアイサ...。マガモの頭が、光の加減で緑、紫など様々な色に光ってとても鮮やかだ。餌をもらいたいのか、こちらに泳ぎ寄ってくる。対岸にオオハクチョウの姿も見える。高い木の枝にはシメ。名前とは裏腹のまーるいおなかが可愛い。「マヒワ」の声に駆けつけたが、残念ながら飛び去った後だった。池に架けられた橋を過ぎると、沢山いた水鳥たちが何故かほとんどいなくなった。強風の所為か、周囲の木立にも鳥の姿は見えない。ムム...まずい。気分が盛り下がったところで、B 班の人たちと行き会い、昼食タイムとなった。

日向でお弁当を広げながら、情報交換する。B 班の来たコースにはかなりの鳥がいたと

聞き、気合を入れ直して、午後の部スタート。

歩き出してまもなく、ピンズイ発見。四羽が、木の間を、時々地面をつつきながら歩いている。中野さんが「目の後ろに白い斑があるのがピンズイ、無いのはタヒバリ」と教えて下さる。池の縁を歩いていると、先ほどのオオハクチョウ達がこちらの速度に合わせるように並んで泳いでくる。間近で見ると随分大きい。真っ白で柔らかそうで、抱っこしたら気持ちいいだろうな、と思う。木の梢に、何羽もの小鳥たちが飛び交っているのが見える。コゲラ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、キクイタダキなどの混群だった。そしてルリビタキ、カワセミ等青い鳥達。茂みの前にカメラを据えていた方(野鳥の会茨城支部の方だそうだが、撮影した写真を見せて下さった。頭に白い羽毛の混じった「変なアカハラ」。そういえばポート池にも頭の白いカワウが何羽もいたし、途中で見たカラスも肩とくちばしが白く見えた。井頭公園では「白」が流行なのか?と不思議に思った。池を一周したところで、コース終了。残念ながら期待のベニマシコには(声はしたらしいが)出会えず終いだっただ。さて、気になる勝負の行方は?

帰りのバスの中で、いよいよ結果発表。「A班 46種、B班 41種でA班の勝ち!」やったー!両班合わせて51種の鳥が見られたそう。...ふと見ると、紙コップが配られ、赤いラベルの「サンズイのトリ」が車内を飛び交い始めた。「これは 鶴というツルの仲間です...」と誰かが言っている。最後に赤い鳥、出たー!

二宮の道の駅で、忘れずにお土産(名産の「とちおとめ」)も買って、予定通り五時に我孫子駅着。やさしくて物知りでパワフルな「野鳥を守る会」の皆さん、有難うございました。とても楽しかったです。これからも宜しくご指導のほどお願いいたします。

【幹事報告】

日時 2月1日(日) 8:00~17:00
場所 井頭公園 栃木県真岡市籠谷 99
交通 今井タクシーのチャーターバス
参加者 28名 認めた鳥 48種
参加者を A 斑、B 斑に分けてバードソン

実施 A 斑の勝ち

A 斑:46種、B 斑:41種

<認めた鳥>カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、マガン、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、オオバン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、ルリビタキ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、キクイタダキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 51 種 番外トチギガラス、カワラバト、マダラシロハラ

<参加者>野口隆也、間野吉幸、古賀嗣郎、吉田隆行、田中 功、西巻 実、片桐邦夫、宮下三禮、古出洋子、野口紀子、野口紀恵、鈴木静治、石渡成紀、桑森 亮、松本勝英、松本葉子、北原建郎、田中恒雄、中野久夫、中西栄子、首藤佑吉、首藤美恵子、田丸喜昭、メリールイス、松田幸保、類地佑子(担当幹事)小林寿美子、染谷迪夫 計 28 名

福島市小鳥の森探鳥会

2月21日、22日

オオマシコを堪能

染谷迪夫

2月21日早朝、久しぶりの一泊探鳥会で、気分も軽く、集合場所の我孫子駅北口に向かいました。

我孫子で集合の場合はいつもの一番遅いのですが、今日はどうしたわけか一番でした。自分でもわからないくらいにわくわくしていたのでしょう。参加の皆さんも出発の5分まえには、ただ一人のひとを除いては集まっていた。ただ一人のひとオオマシコでした。直ちに出発です。今回の資料の配布や集金はバスの中で行われました。後は現地到着までバス旅行を楽しむことに専念です。出発から2時間半、往きのバスでのなかでは、控えようと思っていたミズトリ(シ・西)は、

ヒョンなことから始まってしまいました。それがいけなかった。感想文を書く羽目になってしまいました。退屈な文章をしばらくお付き合いください。

さて、行程は順調にはかどり、お昼は予定より30分位早く取ることになりました。早朝から動き出していたので早い食事も楽しかった。福島県に入ると、雪景色が田んぼ、畑、山や森に現れてきました。このぶんだと現地では、たっぷりと雪にお目にかかりそうな予感がして嬉しくなりました。(しばらく雪を見ていないので雪にうえていたのかも知れません)

昼食も終り、ほろ酔いも醒めて、いよいよ鳥見モードに入りました。正午過ぎには福島市小鳥の森に着きました。早速、ネイチャーセンターに行ってレンジャーから様子を伺いました。センターの周囲には、エサ台、巣箱が設置され、ジジュウカラ、シメ、ヒガラ、シロハラ、アトリなどが観察されました。森の中を探鳥して、トラツグミやマヒワの大群などに遭遇しました。マヒワは観察よりは遭遇でした。午後の日の光りに当たって、黄色がハツとするほどの美しさでした。

レンジャーがエサをまいている場所にはルリビタキが来て、近くで見ることが出来ました。

小鳥の森といえどもエサは必要？

夕方4時ごろ、阿武隈川のハクチョウの探鳥ポイントを訪ね、オオハクチョウ、コハクチョウ、トビ、オナガガモ、ヒドリガモなど、珍しくもオナガも観察されました。その後帰って撮影した写真の中にトモエガモが写っていました。現地でベテランが誰も気がつかなかったなんて珍しいことです。オオハクチョウ、コハクチョウ、オナガガモなどは川から駐車場にあがって、触れるほどでした。

夕方5時ごろには宿に着きました。この宿は文知摺(もじすり)という名前で曰くのある名前らしいのですが、(曰くは長くなるので省略)昭和時代の旅館を彷彿とさせる雰囲気、暖かく懐かしい思いのする旅館でした。旅籠といった風情でしょうか。家にいるような気分させられました。食事も筆者の好きな和食風で美味しかった。女将さんも辺見マリ似の美人女将でとても良く気のつく方

でした。この旅館を選んだ幹事さんは素晴らしい。お酒にも理解があって持ち込み自由。ワイン3リットル、地酒一升持ち込みました。宴会も食事処でOK。充分満足して就寝。

翌22日は早朝探鳥会。朝6時に宿を出発。昨日の福島市小鳥の森を探鳥しました。気温はマイナス4.5度、みんな凍りついていました。それでも野鳥は元気。シジュウカラ、アオゲラ、ウグイスともミソザサイともつかない声が聞こえました。雪の起伏のある小鳥の森を楽しみました。

宿に戻って朝食の後、前日、小鳥の森のレンジャーが教えてくれた赤い鳥・オオマシコの観察ポイントに向かうべく、雰囲気のある宿を後にしました。レンジャーの書いた地図を頼りに、幹事、バスの運転手、はたまた通り合わせた地元のドライバーを巻き込んで、ポイント探しです。苦勞の末、探鳥ポイントに着きました。摺上浄水場にいたる道路の両脇の斜面林でした。斜面と斜面上部は灌木に覆われていてその枝先にオオマシコが現れました。指呼の距離の近さです。夢中で双眼鏡をのぞいたり、シャッターを押したりでした。オオマシコのポイントで心行くまで探鳥し、撮影しました。

一時間近くいましたが、その間、オオマシコその他の小鳥は100羽以上探鳥ポイントを出入りしていました。ここで観察されたのは、オオマシコ、ベニマシコ、アトリ、アオジ、ホオジロ、カヤクグリ、カシラダカ、ジョウビタキ、エナガなどでした。ベニマシコは後になって写真に写っていないから全部オオマシコではないかとの話もありました。多分それほどオオマシコに集中して撮影したのではないかと筆者はおもっています。筆者はベニマシコを見ています。まだまだいたかったのですが、先のこともあり名残惜しく後にしました。

この後、途中、安達太良のサービスエリアで昼食を取り、一路、海岸の水鳥の探鳥の為に、いわきに向かいました。榎葉町の天神崎スポーツセンターから眼下の海岸を探鳥しました。海岸近くの海にクロガモの群れが200羽以上観察されました。波間に浮く黄色の嘴と黒い姿がよく目立ちました。いつもは波崎辺りで1~2羽のクロガモでしたので、ビックリしました。

これで今回の探鳥の予定は終わりました。あとは帰路につくだけです。帰りのバスでも多少のミズトリ(ゝ・西)を楽しみました。この2日間で消費したミズトリ(ゝ・西)は10リットルを超えました。今回の探鳥は、鳥も宿もミズトリ(ゝ・西)も充分堪能しました。幹事及び参加者各位、ありがとうございました。

【幹事報告】

<認めた鳥>カイツブリ、カワウ、ウミウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、オオハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、クロガモ、トビ、オオタカ、ノスリ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、シロカモメ、ウミネコ、キジバト、アオゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、カヤクグリ、ルリビタキ、ジョウビタキ、トラツグミ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、オオマシコ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソカラス、ハシブトカラス、計59種 番外ガビチョウ、カワラバト

<参加者>西巻実、古賀嗣朗、山住良子、桑森亮、間野吉幸、宮下三禮、山本貞江、中野久夫、諏訪哲夫、吉田隆行、石渡成紀、染谷迪夫、松本勝英(担当幹事)田中功、鈴木静治 計15名

北本自然公園探鳥会

3月22日

北本自然公園探鳥会に参加して

渡邊 成

鳥のずぶの素人が本年1月に入会し、1月と3月の手賀沼・定例会を経て、今回は初めての本格的な(?)探鳥会です。持ち物は、弁当と雨を心配して雨傘、そして、最近購入した図鑑と登山・旅行・美術展などで20年来愛用してきた双眼鏡(8×21)です。最近やっと購入した、望遠のカメラも、フィール

ドスコープも持参しませんでした。今の私は、鳥を発見すること自体が難しく、仮に鳥を発見し見てもほとんど鳥の識別ができません。それは、レンズの暗い双眼鏡ではなく、自分の暗い知識の所為なのですが。今回は、皆さんのご指導で鳥を観察できればハッピーで、探鳥会のフィールドである北本自然公園を散策し、皆さんがどのようなスタイルで探鳥会を楽しんでいるのか、拝見しようと思いました。

(1)探鳥会の道具

皆さんの道具を拝見すると、双眼鏡のみ、双眼鏡とスコープ、双眼鏡と望遠のカメラ(三脚なし)、双眼鏡と望遠のカメラ(三脚あり)、双眼鏡、スコープと望遠のカメラ(三脚なし)、双眼鏡とデジスコなど・・・各人各様でした。皆さんそれぞれの鳥の楽しみ方があって使う道具が異なっているでしょう。この中で、が一番重そうな感じですね。今回のフィールドは短い距離の、平坦で、整備された歩きやすい道でしたが、フィールドによっては道具の重量や体力が問題になるのでしょうか。

(2)服装、靴、ザックなど

皆さんの服装、靴、ザックなどは軽いハイキング程度のもので感じました。フィールドや季節によって変わるのでしょう。なお、他のグループで迷彩服の人を見かけましたが、迷彩服の効果はどの程度なのでしょう。

(3)私の観察できた鳥:「ヒレンジャク」往きの車の中で、第一のターゲットは「ヒレンジャク」と伺いました。到着後冒頭に北本自然公園の指導員から公園と鳥の観察ポイントの紹介を受け、幹事さんから今日の観察のルート、予定について説明があり、全員で出発。私は、途中途中で皆さんのご指導により双眼鏡を覗き鳥をやっと捉えても、距離や光線の加減が、大きさや形は何となく分かるのですが、色や模様はほとんど分かりませんでした。ところが、何と幸運にも「ヒレンジャク」を間近に観察することが出来たのです。

「ヒレンジャク」がいるとの声に皆さん一瞬緊張(?)が走ったようです。十数羽が梅林の枝から草地に下りて餌を食べています。私は急ぎ鳥の停止線(阻止線)まで急坂を下りて、大砲のようなレンズを構えた迷彩服の人の隣に裸眼でもよく見える位置を確保し

ました。「ヒレンジャク」はすぐ目の前の草地にいます。私の左右、後でシャカシャカシャカシャ・と連写音が充満しています。「ヒレンジャク」は平気な顔(?)で食事中でした。食べていたのはリュウノヒゲの実とのことで、地面(平面)を動くので見逃すこともなく、メモ帳代りのコンパクトカメラにその姿を撮ることも出来ました。お蔭様で「ヒレンジャク」の大きさや形、色や模様を十分堪能することが出来ました。弁当の後、図鑑で「ヒレンジャク」を確認、私の頭にこの鳥のイメージを固定化出来たようです。大満足でした。

(4) その他(おまけ)

「エドヒガンザクラ」の満開を楽しむことが出来ました。高さ20メートル、根回り3メートル、樹齢200年以上の、空に大きく枝を広げた巨木です。この時季、必見です。

素人の見たこと、感じたことを並べてみました。今後とも出来るだけ探鳥会に参加し、皆様のご指導を得ながら鳥の知識を徐々に増やして探鳥を楽しみたいと思います。最後に、開催間近の申込にも拘らず配車調整し

て頂いた幹事さん、そして楽しく探鳥させて頂いた皆さんに感謝します。ありがとうございました。

【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オオタカ、キジ、バン、キジバト、カワセミ、アリスイ、アカゲラ、コゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ヒレンジャク、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計40種 番外コジュケイ、カワラバト
 <参加者> 染谷迪夫、桑森亮、宮下三禮、中野久夫、松本勝英、松本葉子、間野吉幸、西巻実、吉田隆行、鈴木静治、田中恒雄、猪爪敏夫、北原建郎、古賀嗣朗、片桐邦夫、古出洋子、石渡成紀、小川克子、天野正臣、天野睦子、井上正、松下勝子、渡邊成、鳩川堯(担当幹事) 野口隆也、松田幸保 計26名

鳥 だ よ り

- | | |
|---|--|
| 01.23 [北新田] 材効(1) 河川敷柳上
中野久夫 | 02.01 [酒井根 6 丁目下田の森] アトリ(1)
9:40、強風の影響で屋敷林の木の枝に止ま
っていた 飯泉仁 |
| 01.23 [北新田] 刈刈(2) 物色飛翔と電柱
上 中野久夫 | 02.02 [大井新田先手賀沼] ミサコ(1)
14:50~15:10、晴れ 飯泉仁・久美子 |
| 01.25 [北新田] 冨ウゲノホリ(1) 電柱上で
中野久夫 | 02.02 [片山] ヤマガラ(2) 12:25、鳴きな
がら林の中を移動 飯泉仁・久美子 |
| 01.29 [東中新宿火の見下] トビ(1)
10:41、上空を旋回 飯泉仁 | 02.02 [片山] キイタキ(1) 13:00、林縁
を鳴きながら移動 飯泉仁・久美子 |
| 01.29 [江蔵地] アトリ(20) 藪より飛びだ
す 鈴木静治 | 02.02 [片山新田先] 刈刈(1) 13:15、道
路脇の電線に飛来 飯泉仁・久美子 |
| 01.29 [江蔵地] 刈刈(1) 上空を通過
鈴木静治 | 02.02 [片山新田先手賀沼] 材効(1)
雌個体 飯泉仁・久美子 |
| 01.29 [江蔵地] ベニマシコ(2)木の梢に留ま
る 鈴木静治 | 02.08 [手賀沼] チュウ(1) 上沼1
染谷迪夫・木村稔・佐々木隆・田中功 |
| 01.30 [浅間前] 刈刈(1) 田の杭に留まる
鈴木静治 | 02.11 [柏の葉公園] ヨシガモ(1) 13:28、
雄成鳥、右目の瞬膜が閉じている状態 |

飯泉仁・久美子
 02.11 [中沼田、日秀新田] ウスイロチュウ(1) 物色飛翔 桑森亮
 02.11 [中沼田、日秀新田] ノスリ(3) 採餌、飛翔 桑森亮
 02.11 [中沼田、日秀新田] ヒ(2) 飛翔 桑森亮
 02.11 [中沼田、日秀新田] フヨウノボ(2) 小鳥を追う、電柱上 桑森亮
 02.12 [北新田] ヌヅ(1) 4号排水路で 中野久夫
 02.12 [北新田] イヅ(1) 2号排水路で 中野久夫
 02.15 [湖北台4丁目斜面林] ウグ(1) 不完全な囀り 赤尾 完
 02.19 [北新田] ウスイロチュウ(1) 稲刈り 中野久夫
 02.22 [下沼田] ハブサ(1) 12:40、耕地を小鳥を追尾しながら移動 飯泉仁・久美子
 02.22 [発作橋] オハコヨ(2) 12:12 千葉ニュータウン方向から出現し着水した 飯泉仁・久美子
 02.22 [発作橋] ノスリ(1) 12:12、高压線周辺を飛翔 飯泉仁・久美子
 02.24 [新木] フヨウノボ(1) 電柱の先に留まる 鈴木静治
 02.24 [北新田] ヒ(1) 電柱上で 中野久夫
 02.28 [下沼田] ノスリ(2) 11:00~12:50、耕地を飛翔、うち1羽は小鳥を捕獲後、畦で食べていた 飯泉仁・久美子
 02.28 [下沼田] ヒ(1) 11:00~12:50、耕地を飛翔 飯泉仁・久美子
 02.28 [高野山新田] イヅ(2) 埋め立て干潟で採餌 鈴木静治
 02.28 [高野山新田] コイカ(1) 遊歩道の桜に止まり鳴く 鈴木静治
 03.01 [下沼田] フヨウノボ(1) フヨウノボとノスリ並行して飛ぶ 鈴木静治
 03.04 [酒井根6丁目下田の森] オハコ(1) 10:24、西山方向から北方向に出現 飯泉仁
 03.05 [北新田] ハブサ(1) 電柱上で 中野久夫
 03.08 [岡発戸新田] オハコ(4) 巣を取り逃がす、カスに追われる。

猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴木静治
 03.08 [岡発戸新田] フヨウノボ(1) カラスに追われる
 猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴木静治
 03.08 [岡発戸新田] ミコ(1) 手賀沼の杭にとまる
 猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴木静治
 03.08 [岡発戸新田] チュウ(1) 上空を飛ぶ
 猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴木静治
 03.08 [手賀沼] オハコ(40) 上沼 染谷迪夫・北原建郎・佐々木隆・田中功
 03.08 [北新田] オハコ(1) 休耕田で 中野久夫
 03.10 [東中新宿] ヴミ(2) 10:40~10:50、鳴きながら上空を旋回 飯泉久美子
 03.13 [布佐] ヒ(1) 斜面林の上を飛ぶ 鈴木静治
 03.15 [北新田] ハビコガモ(2) 1・1、2号排水路で 中野久夫
 03.17 [北新田] ウスイロチュウ(1) 河川敷上空を飛翔 中野久夫
 03.20 [片山新田先手賀沼] ミコ(2) 水面を泳いでいた 飯泉仁・久美子
 03.20 [呼塚新田先手賀沼] コチドリ(2) ふるさと大橋の東側の圃場で餌を探していた 飯泉仁・久美子

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカハラ、アトリ、イカルチドリ、イソシギ、ウグイス、ウスハイロチュウヒ、エナガ、オオジュリン、オオセッカ、オオタカ、オオハクチョウ、オオバン、オカヨシガモ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キクイタダキ、キジ、キジバト、クサシギ、コイカル、コガモ、コゲラ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、シジユウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、トビ、ノスリ、ハイロチュウヒ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、

ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、ベニマシコ、
 ホオアカ、ホオジロ、ホオジロガモ、ホシ
 ハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ム
 クドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカ
 モメ、ヨシガモ、ルリビタキ 計 77 種
 番外種 アイガモ、アヒル、エジプトガン、
 カワラバト、コジュケイ、シナガチョウ

桑森亮	5
首藤佑吉	4
鈴木静治	25
染谷迪夫・北原建郎・佐々木隆	30
田中功	
染谷迪夫・木村稔・佐々木隆	31
田中功	
田中功	3
中野久夫	40
総計	582

今回の投稿者の総投稿件数

赤尾完	2
飯泉久美子	5
飯泉仁	240
飯泉仁・久美子	192
猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男	5
鈴木静治	

会 員 便 り (ab-yacho より)

【ウグイスの初鳴き】

湖北台でウグイスの初鳴きが聞こえました。(2/15 記録)
 ウグイスの初鳴きとしては遅いほうですが、市街地での初鳴きは郊外に比べれば遅くなる
 傾向ですね。 (赤尾完 3/16)

【コイカル】

8日(日)の幹事会開催前に親水広場遊歩道で見たコイカルの鳥便りです。遊歩道に現れ
 るとの話しは聞いていましたが、実際に見ると大変美しい色合いでした。
 (桑森亮 3/16)

【夏羽のカムリカイツブリ】

夕方、カムリカイツブリを求めて手賀沼南岸「染井入り落し」に行ったところ13羽い
 ました、夏羽がみごとです。定例までいるとよいですね、ポンプ場にサシバがいました。
 (松田幸保 4/2)

【サシバ】

今日は、市民農園近くの手賀沼杭上にサシバがいました。一瞬オオタカと思ったのですが、
 すぐ近くにはカルガモ、コガモの数十羽の群れがいて、良く見るとサシバでカモ達はその
 区別ができるようです。 (桑森亮 4/5)

【茨城県美浦村】

15日に日本野鳥の会茨城支部の探鳥会に参加しました。

意外と早く集合場所に到着したので、村役場の周辺を歩きました。標準語、茨城弁、正調、未完成のウグイスの沢山のさえずりを楽しみました。

第一のポイントは、一番古い説では、紀元18年といわれる楯縫神社(たてぬい)で、古木が多く、シーズンにはそれらの穴の中での、フクロウやアオバズクの繁殖が多いそうです。霞ヶ浦の南側で、シロカモメが目の前をゆっくりと飛び去りました。この辺では、大変珍しいそうです。風が強く、カモ類はあまり見かけませんでした。カンムリカイツブリの夏羽が2羽浮かんでいました。陸平貝塚(おかだいら)では、最初に出会ったのが、ヒレンジャクで、初めは数羽かと思っていましたが、推定では20羽程が飛び回っていたと思われます。ムクドリのような飛び方で、よく観察していた人たちは、空中で餌をとっていたと見たようです。順光で、私たちの近くまで来てくれたので、良い写真ができると思います(まだ、現像していない)。その裏の、大宮神社も、650年の創立だそうです。この日は昼過ぎの時間帯で、見かけませんでした。アカハラ、シロハラ、トラツグミは良く見られるそうです。気温も15-16度ほどになり、とても良い探鳥会でした。

(田丸喜昭 3/17)

市民活動フェア in あびこ 2009 報告

「市民活動フェア in あびこ 2009」が2月28日、3月1日にアビスタ・けやきプラザ・湖北地区公民館の3ヶ所で開催されました。当会は「手賀沼公園探鳥」と「パネル展示」(アビスタ)で参加しました。探鳥は公園定点で両日の9:00~12:00に実施され、好天には恵まれませんでした。107名の方が訪れました。「パネル展示」は生態系の頂点にいるタカの手賀沼周辺での出現状況等をテーマに2日間展示され、約600名の方が足を止めていました。当会会員の参加者は延べ39名でした。また、今回は間野会長が当会の所属する環境分科会の代表を務め、分科会としてまとまりがあったとの評価を得ました。

3月幹事会報告

日時 3月8日(日) 13:30~17:00

場所 水の館 3F 研修室

- 議題
- 1 総会議案の検討、決定
 - ・ 20年度活動報告及び決算案の検討、決定
 - ・ 21年度事業計画及び予算案の検討、決定
 - 2 会報208号の掲載記事について

- 会報 208 号の掲載記事を検討した。(行事予定、実施行事の感想文、報告など)
- 3 報告事項

Enjoy 手賀沼への参加

- ・ 例年通り「バードウィーク手賀沼探鳥会」に山階鳥研、鳥博と共催で参加。内容の基本パターンを従来通り。
- ・ 探鳥会開催日の午後、子ども向けイベントとして 1 時から 2 時に紙芝居大会を実施する方針で、実行委員会と調整する。

市民活動フェア

間野会長が活動実績を報告。

- ・ 手賀沼定点探鳥会は初日 57 名、2 日目 50 名が参加。パネル展示も好評を得た。

その他

- ・ 紙芝居 「スズメさんの自然観察」を作成することで画家の森元さんと調整に入る。
- ・ 内容等は別途確認。また、紙芝居製作について、美手連に手賀沼基金助成金申請書(4万円)を提出。

平成 21 年度会費納入のお願い

本年度の会費納入時期がきました。郵便局の払込用紙を同封しましたので早期にお振込ください。尚、既にお支払いの方はこの用紙を破棄してください。

年会費 2,000 円(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員無料)

新会員紹介

染谷良子(我孫子市)、田中恒雄(我孫子市)

ほーほーどり No. 208 (2009 年 5 ~ 6 月号)

発行 2009 年 5 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1 - 9 - 4 Tel : 04 7182 3972

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)